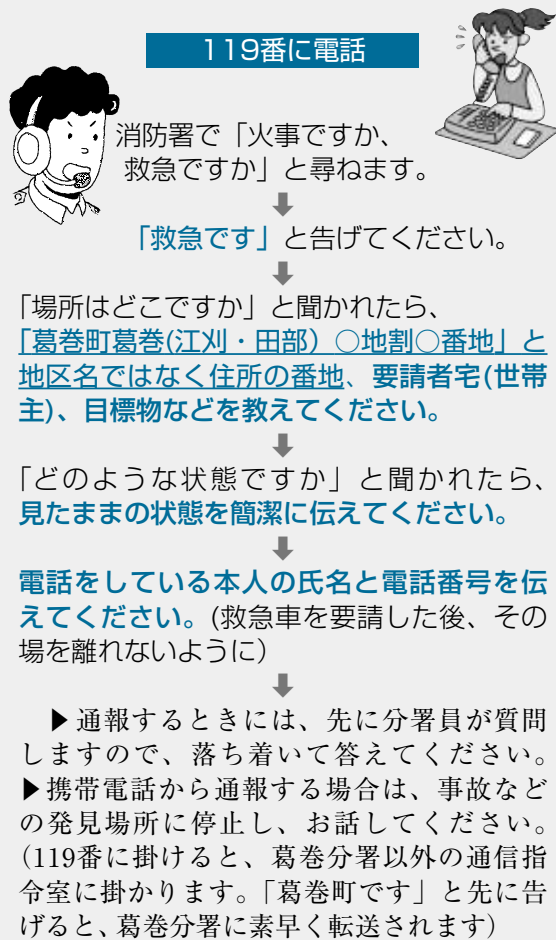


知っておきたい!

119番通報の流れ



④早い医療処置—この四つの「救命の連鎖」が一つ欠けても、尊い命を助けることはできません。

わたしたちにできることは、最初の「早い通報」と「早い応急手当」。救急隊が迅速的確な現場活動を行うためには、通報者からの正しい情報が必要です。救急車の呼び方や、いざというときに役立つ応急手当の知識は、しっかりと身に付けておきたいものです。

また、本町では来年四月一日から、高規格救急自動車の運用が開始されます。この救急車は、救命士による高度な応急処置が行える資機材が積載され、救命率の向上に力を発揮します。

わたしたちは、いつ、どこで突然のけがや病気に襲われるか予測できません。もし、目の前でそのような事態が起きたとき、あなたは的確に判断し、手助けすることができますか。今回は、常に救急現場に直面している葛巻分署から日ごろ感じていることや通報の要点などを聞きました。



いざというとき

迅速な対処ができますか

119番通報は早めに

昨年四月から今年三月までの本町の救急車出動件数は、百八十六件。急病による出動が半数を超え、そのほとんどが高齢者となっています。また、転院搬送が多いのも特徴です。

ここ三年間の平均出動件数は、百八十一件。盛岡広域管内の市町村と比べ、人口割合で見ると件数的には多いほうではありません。

平成17年度救急車出動状況

種別	出動件数	搬送人員
急病	98	92
転院搬送	50	50
交通	19	27
一般負傷	9	8
自損行為	7	3
労働災害	1	1
運動競技	1	1
その他	1	1
合計	186	183

資料：葛巻分署

救急車が到着するまでに

葛巻分署長代理 遠藤菊郎さん



救急車が到着するまでの皆さんの対応ですが、病人やけが人を危険な場所にそのまま放置しておくかないで、安全な場所に移動することを忘れないでください。お風呂の浴槽内やトイレ、また冬期間の路上に放置したままの現場がよく見受けられます。

特に、意識のない方には「気道確保」という方法で呼吸を楽にし、症状の悪化を防いでください。

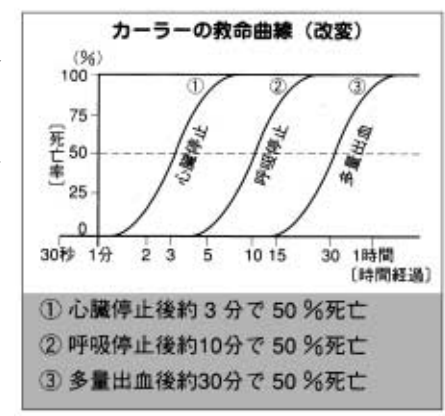
葛巻分署では「救命救急講習会」を皆さんからのご要望により随時開催しています。この機会に受講されますことを強くお勧めします。みなさんの愛する人のために!

救急車を呼ぶことに抵抗感のある人が多く「サイレンを鳴らさないで来てほしい」という通報者もいるようです。

盛岡中央消防署葛巻分署では、「救急隊が出動し、苦しんでいる方と接した時、もう少し早く通報してくれれば、ここまで悪くならなかったと感じることが多くあります。痛いとか苦しいときには、動けなくなるまで我慢せず、早めに119番通報してほしい」と呼び掛けています。

重要な「救命の連鎖」

下の図は、「カーラーの救命曲線」というもので、現在、日本で行われている応急手当講習会の理論的根拠となっています。心臓や呼吸が止まってから、何分くらい経過すると、命が助からないかが



曲線で示されています。通報から救急車が到着するまでの時間は、全国平均で約六分。面積の広い本町では、とても及ばない数字です。もし、呼吸が止まってしまうと、心臓が止まってしまうと、救急車が到着するまで何もしないで見ていたら、命を救うことができません。心臓が止まってしまうような重篤な状態のときには、①早い通報 ②早い応急手当 ③早い救急処置

はたち 心新たに20歳の誓い

葛巻町成人式典



来賓の祝辞を真摯に受け止める新成人

平成18年度葛巻町成人式典は8月15日、ふれあい宿舎グリーンテージで行われました。本町の新成人は、昭和60年4月2日から昭和61年4月1日生まれの122人、そのうち80人が式典に出席しました。

近藤道雄町教育委員長の式辞の後、教育委員会から成人証が贈られ、成人者を代表して会社員元村孝太さん(元木出身)が「成人として自らの人格形成に努め、郷土葛巻の発展に最善の努力を尽くすことを誓います」と述べました。

出席者は、中村哲雄町長らからお祝いや激励を受け、大人としての自覚を胸に新たな一歩を踏み出しました。

式典後は、後夜祭(成人式実行委員会主催)が開かれ、久々の再会を楽しむとともに、平庭高原フォレストボードづくりに参加し、思い思いのメッセージを書き入れました。

9月9日は救急の日